

新型インフルエンザウイルスの消毒

佐久保健所

1 清掃・消毒を行う際の注意事項

- (1) 清掃・消毒をする際は、マスク、手袋、エプロン、ゴーグル(メガネでも可)を着用する。
- (2) 患者や、患者の持ち物、周辺環境等に触った後は、流水と石けんによる手洗い、及びアルコール製剤による手指消毒(速乾性擦式消毒用アルコール製剤等)を行う。

2 清掃・消毒の実際

(1) 汚染された場所、物品の消毒

- ・患者の分泌物等(血液、排泄物:便や尿、飛沫物質:鼻水、ツバ、痰、分泌物など)が付着した場所、物品(基本的に患者が使用していた物品は、他の人と共用しないことが望ましい)
- ・患者が頻回に接触したと考えられる箇所(ドアノブ、トイレの便座、スイッチ、手すり、テーブル、椅子、ベッド柵など)
- ・パソコン・携帯電話等の電子機器類等は、水分が入ることによって故障の可能性があるため、アルコール製剤による消毒を行なう。

(消毒方法)

0.05～0.5%次亜塩素酸ナトリウムで拭き取り(注1) または 30分間浸ける(注2)

消毒用エタノールもしくは70%イソプロパノール

80℃、10分間の熱湯消毒

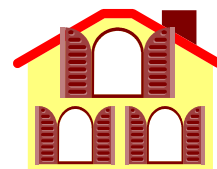
*注1 消毒後10分くらい経ったら、水拭き。(特に金属は念入りに)

*注2 その後、十分に水洗い。(特に金属は念入りに)



(2) 汚染されていない場所、物品の掃除

- ・患者が滞在した場所の床は、モップや雑巾などで埃を巻き上げないように拭き掃除をする。
- ・患者が使用していた物品は、拭き取り掃除を行う。
- ・食器・衣類・リネンは、通常の洗浄・清掃が良い。



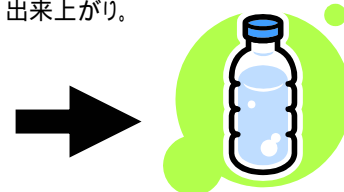
(3) 室内の換気

患者が使用した部屋等は、戸外に面した側の窓を開けるなどして、十分に換気を行う。その際、他の居住区域に直接面していないことを確認する。

(次亜塩素酸ナトリウム液の作り方) 500ml用ペットボトルを使うと分かりやすいです。ペットボトルのキャップ1杯=5mlです。

塩素剤の濃度 (商品名)	用途	1% (ミルトンなど)	5% (ハイター、ブリーチなど)
消毒薬の濃度			
0.05%次亜塩素酸ナトリウムの場合	住環境 日用品等	25ml (キャップ5杯)	5ml (キャップ1杯)
0.5%次亜塩素酸ナトリウムの場合	患者の分泌物 (血液・排泄物) が付着したもの	250ml (ペットボトル半分)	50ml (キャップ10杯)

消毒薬を先に入れて、ペットボトルいっぱいになるまで水を入れれば、出来上がり。



作った消毒液を、洗面器やバケツに入れて使う。

*作った消毒剤は、時間が経つにつれて効果が減っていきますので、作り置きはせず、使用する都度作ってください。

ご心配なことや、ご不明な点がございましたら、
佐久保健所(0267-63-3164)
(携帯電話:)まで、ご連絡下さい。

